

「モチベーション研究」論文投稿規程

「モチベーション研究」は、学際的見地に立って、心理学的観点に基づくモチベーションに関わる未公開の研究論文を掲載する。研究論文の種類は「原著 (Original Article)」、「展望 (Review Article)」、「資料(Material)」、「研究ノート(Research Note)」、「その他」のいずれかとする。研究論文以外の寄稿については、編集委員会が執筆を依頼することがある。

1. 投稿を希望する者は、モチベーション研究所宛、以下の諸要項に沿って指定の期日までに投稿原稿を1部提出する。投稿原稿は未公開のものに限る。原稿は原則として返却しない。

2. 和文原稿は、いずれの種類についても原則として24,000字以内とし、MS Wordを用いて、A4判横書きで作成する。表紙、和文要旨、英文要旨、日本語および英語のキーワードそれぞれ3~5語、本文、引用文献からなり、必要に応じて表と図を活用する(図表は1点800字を目安とする)。表紙には、表題・投稿者名・所属機関名を、和文と英文で記す。和文要旨は400~600字程度とし、英文要旨は100~200語程度とし、事前に専門家の校閲を受けておくこと。本文は常用漢字、現代仮名遣い、算用数字を用いる。ページ番号を、本文、引用文献、表・図を通して振る。表・図は必要最小限にとどめ、本文との重複を避ける。

英文原稿は、いずれの種類についても事前に専門家の校閲を受け、原則として6,000語以内相当とし、MS Wordを用いて、A4判横書きで作成する。表紙(表題、投稿者名、所属機関名を含む)、100~200語程度の英文要旨、キーワード3~5語、本文、引用文献(いずれも英語)および400字程度の和文要旨からなり、必要に応じて表と図を活用する(図表は1点200語を目安とする)。ページ番号は、本文、引用文献、表・図を通して振る。表・図は必要最小限にとどめ、本文との重複を避ける。

3. 原稿作成上の規定や表記法、文献の引用などについては、投稿時における最新のAPA(American Psychological Association)の”Publication Manual of the American Psychological Association”、ならびに日本心理学会「執筆・投稿の手引き」に準拠する。

4. 投稿された原稿は、本誌編集委員会が委嘱する審査者の審査結果に基づき、編集委員会が掲載の可否を決定する。研究論文以外の投稿についても、編集委員会が審査し掲載の可否を決定する。いずれの投稿についても、原稿の改稿を求めることがある。なお、投稿された原稿が本誌発行の主旨に合致しないと判断された場合は受稿しない場合もある。

5. 受理された原稿は、原則として初稿のみ著者校正とする。その際、誤植程度にとどめ、付加添削は認めない。
6. 掲載されたすべての寄稿・研究論文の著作権は、当研究所に帰属する。
7. 本誌に掲載された研究論文の著者は、本誌の刊行日から向こう 5 年間、論文中の記述を再現できるデータを保存しなければならない。
8. 本規程は、令和元(2019)年度発行「モチベーション研究」第 9 号より適用する。